

3月30日

テーマ：「最後の審判」

聖書箇所：黙示録20章11節～21章7節

◆今日のみことば

彼らの目の涙をすっかりぬぐい取ってくださる。もはや死もなく、悲しみ、叫び、苦しみもない。なぜなら、以前のものが、もはや過ぎ去ったからである。黙示録21章4節

◆メッセージ

日本で一番長く生きた人は何歳まで生きたと思いますか。なんと117歳です。すごいですね。でもどんなに長生きしても、人間はいつか亡くなります。それでは亡くなったあとに、私たちはどこに行くのでしょうか？聖書の最後にあるヨハネの黙示録という本に、そのことがはっきりと書いてあります。私たちは死んだあとに、誰もが神さまの前に立つと書いてあります。そして神さまは、神さまの前に立っている一人一人を、生きている間に何をしたのか、良いことをしてきたか、悪いことをしてきたのか裁かれます。まことの神さまを信じて、イエスさまを救い主として心に受け入れている人は、いのちの書という書物に名前が書かれていて天国に行くことができます。でも神さまを信じることをせずに、悪いことをしてきた人は、恐ろしいことに永遠に苦しまなければいけない火の池に投げ込まれます。だから生きている間に神さまを信じること、そして神さまがみんなにしてほしいと思っている良いことをすることはとても大切なことです。



それでは、天国はどのようなところでしょうか？今、私たちが生きているこの世界は過ぎ去って、全く新しい世界になると書いてあります。神さまが私たちと一緒に住んでくださり、神さまは私たちと一緒にいてくださいます。たとえ天国に入るまでの人生でどんなに辛い、苦しいことがあっても、神さまは「もう泣かなくていいよ」と私たちの涙をふいて慰めてくださいます。なぜなら、天国では死ぬことがなく、悲しいことや苦しいことがないとても素晴らしい所だからです。

イエスさまを救い主として心に受け入れて、天国を目指して歩みましょう。

◆お祈り

「神さま、素晴らしい天国に行ける約束を感謝します。神さまのことを信じて、神さまに喜ばれる良いことを行うことができますように。」

(茨木聖書教会伝道師 笠川路人)